

# 2018 年度 日本計量生物学会年会

主催：日本計量生物学会

共催：統計数理研究所

後援：応用統計学会

2018 年 3 月 29 日（木），30 日（金）

統計数理研究所 大会議室（2 階）

〒190-8562 東京都立川市緑町 10-3； <http://www.ism.ac.jp/>

- 3 月 29 日（木） 12:30～13:20 理事会(会議室 D222)  
13:30～13:40 開会の挨拶  
13:40～15:20 一般講演『臨床試験・臨床研究』  
15:40～17:00 一般講演『疫学』  
17:00～18:00 社員総会・評議員会(会議室 D222)
- 3 月 30 日（金） 9:30～10:30 一般講演『臨床試験・臨床研究』  
10:40～11:40 特別講演（2017 年度学会賞受賞者講演）  
11:40～13:00 ポスターセッション(3F セミナー室 5)  
13:00～14:00 日本計量生物学会総会・学会賞授与式  
14:00～16:00 特別セッション『統計コンサルテーション』  
16:20～17:40 一般講演『バイオインフォマティクス・臨床診断学』

年会参加費：正会員 3,000 円，応用統計学会員 3,000 円，非会員 5,000 円，  
(事前登録の場合は正会員 2,500 円，応用統計学会員 2,500 円，非会員 4,500 円)  
学生（正会員，非会員とも）1,000 円

2018 年度

## 日本計量生物学会年会プログラム

3月29日(木) 13:30~17:00 (開場 13:00), 30日(金) 9:30~17:40 (開場 9:10)

統計数理研究所 大会議室 (2 階)

主催：日本計量生物学会

共催：統計数理研究所

後援：応用統計学会

年会参加費：正会員3,000円, 応用統計学会員3,000円, 非会員5,000円,

学生(正会員, 非会員とも) 1,000円

(事前登録の場合は正会員2,500円, 応用統計学会員2,500円, 非会員4,500円),

学生(正会員, 非会員とも) 1,000円

### チュートリアルセミナー

主催：日本計量生物学会, 応用統計学会、共催：統計数理研究所

日時：3月29日(木) 9:30~12:30 (開場 9:00)

会場：統計数理研究所 大会議室 (2 階)

テーマ：適応的デザインとその応用

オーガナイザー：星野 崇宏 (慶應義塾大学), 田栗 正隆 (横浜市立大学)

講師・内容

1. 本多 淳也 (東京大学)：バンディットアルゴリズム (目的変数適応的デザイン) の数理
2. 平川 晃弘 (東京大学)：Precision Medicine を目指した適応的デザイン—バスケットデザインの理論と実践—
3. 星野 崇宏, 田栗 正隆：適応的デザインと因果効果推定—異質性の理解と個への対応—

参加費：正会員 3,000 円, 非会員 5,000 円, 学生 (正会員, 非会員とも) 1,000 円

(事前登録の場合は, 正会員 2,500 円, 非会員 4,500 円, 学生 (正会員, 非会員とも) 1,000 円)

# 日本計量生物学会年会

## 3月29日(木)

12:30~13:20 理事会 (会議室 D222)

13:00 開場

13:30~13:40 開会の挨拶 日本計量生物学会長 大橋 靖雄

13:40~15:20 一般講演1: 臨床試験・臨床研究 座長 伊藤 陽一 (北海道大学)  
制限付き平均生存時間による検出力の重み付きログランク検定との比較  
福田 武蔵 (アステラス製薬株式会社), 松山 裕 (東京大学大学院)

臨床試験の生存時間型データに対する中央値の差の信頼区間の性能評価  
川口 啓子, 長谷川 貴大, 渡辺 秀章 (塩野義製薬株式会社)

擬似値に基づく競合リスクイベントデータ解析における変数選択規準  
田島 史啓, 林 賢一 (慶応義塾大学)

バイオマーカー探索研究における、変数増減を伴うロジスティック回帰分析の予測精度推定のための  
標本再抽出法の比較  
析澤 欣之, 角元 慶二, 菱垣 晴次 (大塚製薬株式会社)

一般毒性試験データを用いた最尤法による分布の特定法の検討  
高橋 行雄, 半田 淳 (BioStat 研究所株式会社)

15:20~15:40 休憩

15:40~17:00 一般講演2: 疫学 座長 横田 勲 (京都府立医科大学)  
Pseudo-observations を用いた  $g$  推定と競合リスク・区間打ち切りデータへの応用  
田中 司朗 (京都大学大学院)

Modified Least-Squares 回帰による妥当なリスク差推定に必要な1交絡変数当たりのイベント数  
萩原 康博 (東京大学大学院), 福田 武蔵 (アステラス製薬株式会社), 松山 裕 (東京大学  
大学院)

傾向スコアと層別・回帰を組み合わせた交絡調整の誤用について  
篠崎 智大 (東京大学大学院), 野島 正寛 (東京大学医科学研究所附属病院)

全国の人口動態統計データを用いた小規模コホートにおける死亡リスクに関する探索的統計解析法

大瀧 慈 (広島大学原爆放射線医科学研究所), 富田 哲治 (県立広島大学)

17:00~18:00 社員総会・評議員会 (会議室 D222)

## 3月30日 (金)

9:10 開場

9:30~10:30 一般講演3:臨床試験・臨床研究 座長 土屋 悟 (大日本住友製薬株式会社)

中間事象を伴う臨床試験における複合ストラテジーの検討

田栗 正隆 (横浜市立大学), 林 賢一 (慶応義塾大学)

治療効果予測マーカーを用いた第三相試験: マーカー層別デザインの改良

松井 茂之 (名古屋大学大学院), John Crowley (Cancer Research And Biostatistics)

ベイズ流接近法を利用した製造販売後調査デザインの提案

張 方紅, 青木 誠, 柿爪 智行 (ノバルティスファーマ株式会社)

10:30~10:40 休憩

10:40~11:40 特別講演 (2017 年度学会賞受賞者講演) 座長 大橋 靖雄 (日本計量生物学会長)

岸野 洋久 (東京大学)

『分子進化速度が語りかけるもの』

11:40~13:00 ポスターセッション (3F セミナー室5) /休憩

[P1] 抗がん剤の早期開発段階におけるガンマ確率過程による試験期間の短縮

矢田 真城 (東京理科大学, エイツーヘルスケア株式会社)

[P2] エンリッチメントデザインに中間解析を設定する適応的試験デザインの提案

舩田 優, 安藤 宗司, 寒水 孝司 (東京理科大学)

[P3] 一般化傾向スコアに基づく二重頑健推定量を用いた交絡の調整法

江森 健人, 安藤 宗司, 寒水 孝司 (東京理科大学)

[P4] 勾配関数法による変量効果分布の仮定の検証とクラスターのある疫学データへの応用

今井 匠, 田中 司朗 (京都大学大学院), 田中 佐智子 (滋賀医科大学), 川上 浩司 (京都大学大学院)

[P5] 日本人女性を対象とした乳がん検診モデルの開発とリスク層別化に関する検討

山本 周平, 大橋 靖雄 (中央大学)

[P6] 経時的に測定された認知機能テストに対する混合多次元項目反応モデル  
奥井 佑 (東京大学大学院), 中路 重之 (弘前大学大学院)

[P7] Differential abundance analysis を行う際のゼロ過剰一般化線形混合モデル間の性能比較  
奥井 佑 (東京大学大学院), 中路 重之 (弘前大学大学院)

[P8] 多次元階層混合モデルと最適発見手法による疾患関連遺伝子の探索: 肺がんと喫煙に関するゲノムワイド関連解析への応用  
大谷 隆浩, 野間 久史 (統計数理研究所)

13:00~14:00 **会員総会・学会賞授与式**

14:00~16:00 **特別セッション：統計コンサルテーション**

オーガナイザー：大庭 幸治 (東京大学大学院)；座長：大庭 幸治, 手良向 聡 (京都府立医科大学)

○ 統計コンサルテーション –本セッションの導入–  
大庭 幸治 (東京大学大学院)

○ 病院における統計コンサルテーションの実際  
三嶋 秀行, 室谷 健太 (愛知医科大学)

○ 医学研究における統計コンサルテーション  
田中 紀子 (国立国際医療研究センター)

○ 北海道大学における統計コンサルテーションの取り組み  
飯島 弘章, 大野 浩太, 伊藤 陽一 (北海道大学)

○ パネルディスカッション  
座長：手良向 聡, 大庭 幸治  
演者：三嶋 秀行, 室谷 健太, 田中 紀子, 飯島 弘章, 大野 浩太, 伊藤 陽一

16:00~16:20 休憩

16:20~17:40 **一般講演4：バイオインフォマティクス・臨床診断学** 座長 川口 淳 (佐賀大学)  
集団構造と環境因子のグラフィカルモデリング  
中道 礼一郎 (水産研究・教育機構中央水産研究所), 北田 修一 (東京海洋大学大学院),  
岸野 洋久 (東京大学大学院)

集団学習を応用した腸内細菌組成データの関連解析法

奥井 佑, 松山 裕 (東京大学大学院), 中路 重之 (弘前大学大学院)

多施設研究におけるデータ統合と予後予測のための転移学習アプローチ

松井 孝太 (名古屋大学), 金森 研太 (名古屋工業大学), 熊谷 亘 (理研 AIP), 錦見 満暁,  
松井 茂之 (名古屋大学)

最近経験した臨床研究における統計関連の誤り

丹後 俊郎 (医学統計学研究センター)

17:40 閉会

## 会場へのアクセス

羽田空港から：

- ・東京モノレールで浜松町駅，または京浜急行で品川駅へ  
→JR 山手線に乗り換え新宿駅へ→JR 中央線に乗り換え立川駅下車
- ・リムジンバスで立川地区まで直通約 100 分

立川駅から：

- ・立川駅北口 1 番乗り場から  
→立川市役所バス停下車 徒歩約 5 分
- ・立川駅北口バス乗り場 2 番から  
→「大山団地方面行き」で「立川学術プラザ」下車（正門前に停車）
- ・立川北駅から多摩モノレールで高松駅下車 徒歩約 10 分

立川駅より徒歩約 25 分

地図は [http://www.ism.ac.jp/access/index\\_j.html](http://www.ism.ac.jp/access/index_j.html) をご参照ください。

## 昼食について

学会会場の統計数理研究所には食堂，売店等はありません。またモノレールの最寄り駅である高松駅周辺には店は少ないので、**各自、立川駅周辺等にて昼食をご準備ください。**

会場内は飲食禁止です。昼食をとるための部屋を用意いたしますので、ご利用ください。

## チュートリアルおよび年会期間中の会場への電話による問い合わせおよび連絡

期間中（3 月 29 日の 12:30-17:00，30 日の 9:30-17:40）事務局並びに参加者へのご連絡，お問い合わせを，電話番号 090-1620-1845 にて承ります。

---

日本計量生物学会年会運営

大森 崇 （神戸大学）

菅波 秀規 （興和株式会社）

田栗 正隆 （横浜市立大学）

船渡川 伊久子 （統計数理研究所）

問い合わせ先：日本計量生物学会事務局

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町 3-6 能楽書林ビル 5 階

（公財）統計情報研究開発センター内

Fax: 03-3234-7472 E-mail: [biometrics@sinfonica.or.jp](mailto:biometrics@sinfonica.or.jp)

URL: <http://www.biometrics.gr.jp/>

年会期間中の連絡先：090-1620-1845

---